

# センターニュース Center News

私たちは、質の高い医療の実践を通して社会に貢献します。

発行者／帝京大学ちば総合医療センター 千葉県市原市姉崎3426-3 TEL.0436-62-1211(代表)  
URL <http://www.med.teikyo-u.ac.jp/~chiba/>

Vol. **137**  
2025年11月



## 外来診療の手続きについて

### ■診療科目(23科目)

内科 循環器内科 脳神経内科 外科 整形外科 産婦人科 小児科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科  
泌尿器科 メンタルヘルス科 放射線科 脳神経外科 麻酔科(むしよ) リハビリテーション科  
心臓血管外科 形成外科 歯科口腔外科 消化器外科 病理診断科 消化器内科 救急科

### ■初診の方法(当センターに初めて受診される方)

本館1階、初診受付にて診療申込書をご記入のうえ、保険証(紹介状・各種公費負担受給者証をお持ちの方は一緒に)・身分証明書(写真付き)を添えてお申し出ください。

受付時間

平日8:30~14:30 ※形成外科・歯科口腔外科・整形外科 8:30~11:30 / 脳神経内科 水曜日 11:00~  
(休診:皮膚科 火曜日/形成外科 火・木曜日/整形外科 水曜日/脳神経外科 木曜日/歯科口腔外科 金曜日)  
メンタルヘルス科 水曜日午後/脳神経内科 火曜日/眼科 木曜日

土曜日8:30~11:30 ※脳神経内科・歯科口腔外科・形成外科 8:30~10:30 (形成外科は急を要する疾患のみ)  
(休診:整形外科・皮膚科・眼科)

眼科 完全予約制 / 皮膚科 初診患者は完全予約制 / 整形外科の土曜診療は原則予約制

### 初診受診についてお知らせ

眼科では医師の減員に伴い初診患者さんにつきましては、他院より紹介状をお持ちの患者さんのみの受付とさせていただきます。  
皮膚科は他院の医師より当センターの医師へ受診の確認をした患者さんのみとなります。  
ご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。

### 選定療養費についてのお知らせ

初診時選定療養費...7,700円(税込)

紹介状を持たずに当センターを初診で受診される場合に、保険診療分と別途ご負担いただく費用

再診時選定療養費...3,300円(税込)

病状が安定し、当センターがかりつけ医への紹介を申し出ても、引き続き当センターを受診希望される場合に、保険診療分と別途ご負担いただく費用

### ■再診の方法(2回目以降の診察の場合)

再来受付機にて受付後各々の受診科の受付に診察券と受付票をご提出ください。

再来受付機の受付は診察券が必要となりますので、必ずご持参ください。

受付時間については、予約制となっている科がありますので、受診されている科の受付でご確認ください。

### ■休診日 日曜日・祝日・年末年始(12月29日~1月3日)・創立記念日(6月29日)

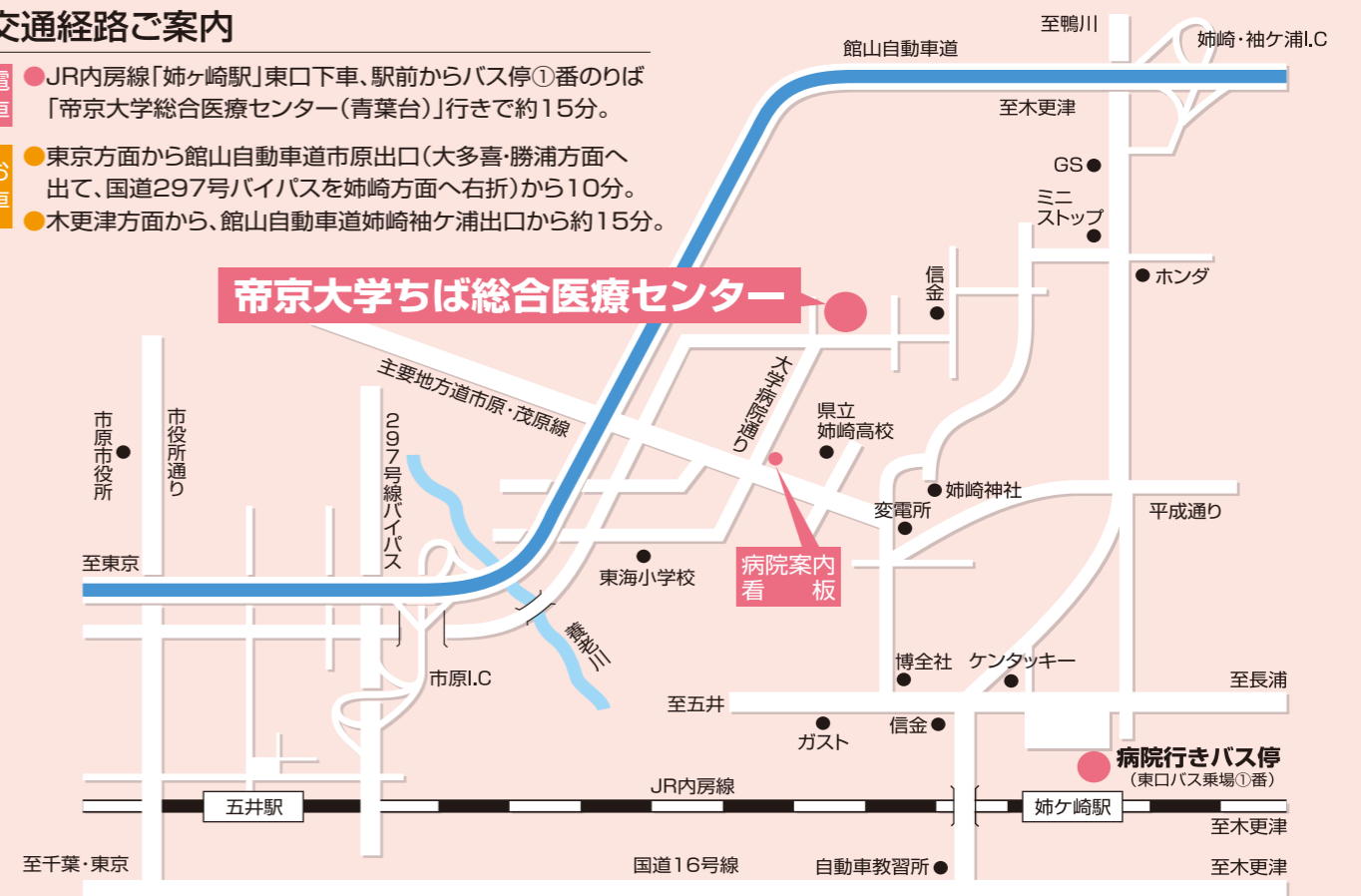
## 交通経路ご案内

電車

●JR内房線「姉ヶ崎駅」東口下車、駅前からバス停①番のりば「帝京大学総合医療センター(青葉台)」行きで約15分。

お車

- 東京方面から館山自動車道市原出口(大多喜・勝浦方面へ出て、国道297号バイパスを姉崎方面へ右折)から10分。
- 木更津方面から、館山自動車道姉崎袖ヶ浦出口から約15分。



# 当院リハビリテーション科の特徴

リハビリテーション科  
眞野 智生

## 「寝かせない医療」で、未来を動かす リハビリテーション

リハビリテーション科の理念は「寝かせない医療」です。長期安静がもたらす筋力低下や関節拘縮、誤嚥性肺炎などを防ぐため、急性期から積極的に離床を促し、座位・立位・歩行練習を早期に導入します。これにより廃用症候群を予防し、患者さんの回復意欲を高め、退院後の生活再建をスムーズにします。

神経心理学的検査や運動シミュレーター評価を行い、安全な復帰をサポートします。機能回復と生活再構築を両立させ、患者さんが地域で安心して暮らせる未来を支えます。

## 痙縮に挑む、ボツリヌス療法で広がる動きと生活の可能性

脳卒中や脊髄損傷後に生じる痙縮は、動作の妨げや痛みの原因となり、生活の質を大きく損ないます。当科では11月からボツリヌス療法外来を新設し、過剰な筋緊張を緩和するボツリヌス毒素を用いた注射療法を導入しています。ポ

ツリヌス療法により歩行や更衣、食事などの日常生活動作が改善し、介護負担の軽減にもつながります。さらに、リハビリと組み合わせることで治療効果を最大化し、患者さんの潜在的な運動能力を引き出します。装具療法や多職種チー

ム医療とも連携し、単なる症状の軽減にとどまらず、社会参加や自立した生活の実現を後押しします。ボツリヌス療法は、患者さんの「動ける喜び」を広げ、未来への可能性を切り拓く重要な治療法です。

## 手足のつっぱりに対するボツリヌス療法

### 手足の筋肉のつっぱり(痙縮)とは

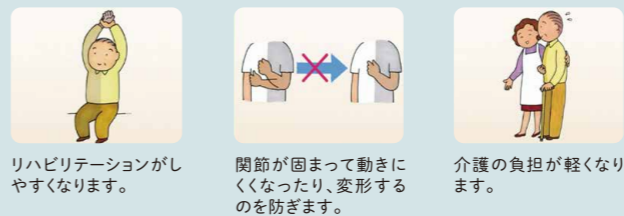
様々な疾病の後遺症でみられる運動障害で、筋肉が緊張し、手足がつっぱったり、曲がってしまったりしてしまう状態のことです。痙縮による姿勢異常が長く続くと、筋肉が固まって運動が制限され、拘縮を生じ、日常生活に支障が生じます。



### ボツリヌス療法について

ボツリヌス菌が作り出すたんぱく質を含んだ薬を筋肉内に注射します。注射する場所は症状によって異なり、超音波を使って筋肉を同定する場合があります。治療時間は20～30分くらいで、注射後にリハビリテーションスタッフから運動指導を受けてもらいます。

### ボツリヌス療法の効果について



# NST(栄養サポートチーム) 専門療法士臨床実地修練の外部実習生を受け入れて

栄養部  
鯨岡 春生・御簾納 友佳

当センターは日本栄養治療学会 栄養サポートチーム(Nutrition Support Team 通称NST)専門療法士の育成のための研修施設として認定を受けています。

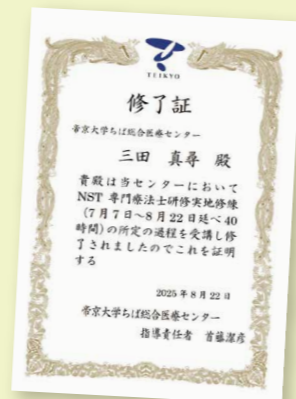
NSTとは医師、歯科医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士など様々な職種が専門的な知識を持ち寄り、患者様に最適な栄養管理を提供するための医療チームのことです。病気や手術のために十分な食事が取れない患者様に最も適切な栄養補給の方法の提案などを行い、入院患者様の治療が円滑に進むように栄養面からサポートします。

昨今、NSTの重要性が認知され、専門療法士の資格取得に注力する施設が増えていますが、研修施設は千葉県内でも14施設と少ないため、当センターは貴重な教育施設の場となっています。

今年度からは院外の実習生を初めて受け入れることとなり院外4名、院内4名の計8名が10日間の実習を行いました。

実習では外科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、内分泌代謝内科など多くの先生方から講義をして頂いたり、実際に回診やカンファレンスに参加し、栄養アセスメント法などについて学びました。

「栄養」は病気を治療していく上で欠かせないものであり、入院患者様に適した栄養管理を行うためには職種に関係なく、専門的な知識と経験が必要とされます。今後も院内、院外問わずNST専門療法士の育成のために研修を行っていく予定です。



# 看護の魅力を伝え、 未来に繋げる取り組み

看護師の確保定着活動として看護理念「おもいやりとやさしさ」のもと看護学生を対象とした「看護インターンシップ」や中高生を対象とした「ふれあい看護体験」の参画、看護職員対象にキャリアプラン・ライフプランを考える機会の「ペンギんクラブセミナー」を行っています。

## 「ふれあい看護体験」

今年度のふれあい看護体験は10名の中学生から高校生が参加をしてくれ動画視聴や院内見学、病棟での看護体験を行いました。どの学生も看護師になりたいという気持ちが更に高まったという意見が多く楽しく体験できたようです。毎年実施していますのでご家族や身近な学生の皆さんにご紹介ください。お待ちしております。

中央診療部 池澤 裕子

## 「インターンシップ」

コロナ禍でしばらくお休みしていたインターンシップを開催いたしました。

インターンシップでの看護学生とのご縁が、看護職としての輝く未来につながりますように☆彡

9A病棟 小駒 三千代

## 「ペンギんクラブ」

キャリアプラン、ライフプランを思い描くことを目的に、ペンギんクラブが開催されました。

参加者や入江看護部長の育児体験談を聞くことができ、参加者の笑顔をたくさん見ることができ温かい気持ちになりました。

9B病棟 今井 景子

看護部HPのご案内  
行事ごとのブログも更新されていますので是非開いてみてください！



# 大規模地震災害訓練 参加報告

救命救急センター  
横井 健人



令和7年度院内大規模地震災害訓練が10月4日(土)に行われました。こうした院内災害訓練はコロナ禍もあったため長く実施できていませんでしたが、昨年度11年ぶりに行うことができ、今年度も引き続き模擬患者さんの参加やテント設営、救急外来での診療、災害対策本部設置など実災害を想定して行いました。当日午前中に医師、看護師、コメディカル、事務職員など計50名以上が参加し、模擬患者さんは昨年同様、帝京平成大学の学生さんがボランティアで参加してくれました。当日は雨予報だったこともあり、診療指揮所やトリアージセンターの位置を救急外来横の天井がある場所に移し、災害発災から約2時間の初動訓練を行いました。今年度は地震発災後に本部設営準備を開始したり、転院搬送の模擬患者さんを入れたりしてより実災害を意識した形で訓練を行いました。予想通り現場は混乱し、様々な課題が出てきたので事後検証をしっかりと行い今後に生かしていきたいと思っています。

当院は災害拠点病院に指定されており、災害時救急医療の中心となる病院です。昨年は年初から能登半島地震が起こり、当院からもDMAT(災害派遣医療チーム)2隊や災害支援ナースを派遣して災害支援活動を行いました。現在、南海トラフ地震や首都直下地震の発生が近づいていると言われています。この「本番」までに何回こうした訓練ができるかわかりませんが、有事の際に少しでも地域の人的被害軽減を目指し、今後も年1回以上こうした実動訓練を継続していきたいと考えています。



11月は秋から冬へ季節が移り変わり紅葉が見頃を迎える時期になってきました。寒い冬を元気に乗り切るため規則正しい生活と寒さに負けない体力をつけていきましょう!



## 11月旬の食材

### かぶ

アブラナ科の一種で、旬が春(3月~5月頃)と秋(10月~12月頃)の2回あります。

かぶは、根と葉の部分で栄養素が異なり、根は淡色野菜でデンプンを分解する消化酵素のジアスターゼなどが多く含まれており、生で食べると胸焼けなどを解消する効果があるとされています。また、葉の部分は緑黄色野菜でβ-カロテンやカルシウム、ビタミンCなどが豊富で風邪の予防などに効果が期待できます。



### 鮭

良質なたんぱく質だけでなく、ビタミンB群や脂身にはDHA,EPAなどが多く含まれています。ビタミンB群は美肌効果や免疫機能を正常に保つために欠かせない成分です。DHA,EPAは中性脂肪や悪玉コレステロールを減らす効果が期待されています。また、鮭の色素成分であるアスタキサンチンは強い抗酸化作用があり、老化や動脈硬化を防ぐ効果があるとされています。



## 栄養部だより

担当 大野友莉



当院受診ありがとうございます。皮膚科は入院が必要な皮膚悪性腫瘍、自己免疫水疱症、皮膚潰瘍が多いですが、9月までは3名体制の為、ご紹介医師からのお電話で確認してから、医師により初診の予約を取得して頂いていました。10月から4名体制に戻りましたので、入院の受け入れも再開しています。皮膚悪性腫瘍は露光部に多く市原市は高齢化、農村地域という背景もあり、今後患者数の増加が予想されます。皮膚は外界からのバリアであり乾燥、温度変化、紫外線などから体を守る最大の臓器です。細胞の遺伝情報を中心とするDNAは紫



## 教えてドクター

皮膚科 佐藤 友隆

皮膚科の診療について



外線で壊れます。壊れたDNAを設計図として細胞が作られると癌が発生します。過剰な日光暴露は皮膚の光老化や皮膚癌の発生につながる可能性があります。まず避けてみましょう。今年の夏は暑くて日傘で遮光している市民が増えましたが、紫外線を含めた太陽光線から肌を守ることは夏のみではなく通年必要です。皮膚癌を疑う病変は早期発見早期治療が有効です。心配な皮膚疹があれば、まずはクリニックを受診して当科にご紹介して頂けると幸いです。アトピー性皮膚炎や乾癬も新しい治療が増えていきます。地域の皮膚科の先生方と2人主治医制で皮膚の健康を守って行きましょう。

## 「病院長への手紙」のお答え

### ご意見

外来受診が終わった後、しばらく受付から呼ばれませんでした。新しい患者対応で忙しいようですが、受診後の患者対応について改善してほしいです。

### お返事

ご不便おかけし申し訳ございません。業務内容を見直しして、少しでも早く患者さんをお呼びできるよう努めてまいります。

### ご意見

今回、入院でお世話になりました。看護師さんは大変テキパキと働いておられて、しっかりと指導が行き届いていると感心しました。

### お返事

貴重なご意見ありがとうございます。今後も患者さんが安心できる対応をしていけるよう教育に力を入れてまいります。

### ご意見

院内の通路について片側通行を取り入れてみてはどうでしょうか。職員の方だけでも採用してくれば通行がスムーズになるかと思えます。

### お返事

貴重なご意見ありがとうございます。車いすの方や松葉杖で歩行している患者さんもおられますので改善できるよう検討いたします。

※いただいたご意見につきましては、原文を忠実に再現しつつ一部簡略化して掲載しております。

## ドクター紹介

- ① 専門分野
- ② 趣味
- ③ 患者様へのメッセージ



眼科助手 武石 真里恵

- ① 眼科
- ② 食事を楽しむ
- ③ 10月より赴任いたしました武石真里恵と申します。微力ではございますが、地域の皆様の健康に貢献できるように努めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。



皮膚科助手 原 詩織

- ① 皮膚科
- ② 散歩、旅行
- ③ 令和7年10月より専攻医として赴任いたしました原詩織と申します。微力ではございますが、皮膚科を通して地域の皆様のかゆみや不安に寄り添い地域の皆様に貢献できますよう尽力して参ります。どうぞ宜しくお願申し上げます。



麻酔科助手 九万田 大廊

- ① 麻酔科
- ② 旅行
- ③ 2025年10月より赴任いたしました九万田大廊と申します。地域の皆様が術前から術後までを含めた周術期を通して安心して手術を受けられるように尽力して参ります。どうぞよろしくお願致します。